

各 位

会社名 株式会社アイビーダイワ  
 代表者名 代表取締役社長 高橋 正紀  
 (JASDAQ・コード 3587)  
 問合わせ先 取締役 CFO 豊島 慶子  
 TEL 03-5312-6510 (代)  
<http://www.ibdaiwa.co.jp/>

## Leeocta Alliance Mineral Resources, Inc.に対する 株式転換権付貸付の実行に関するお知らせ

当社は、クリブデン・マネージメント株式会社および株式会社ウィザードインベストメントより、平成 21 年 12 月 25 日に当社が発行した第 5 回新株予約権各 100 個、合計で 200 個（新株予約権の目的となる当社株式：20,000,000 株）の行使を受け、88 百万円の資金の払込がなされたうちの一部を充当し、平成 22 年 2 月 18 日付で、メキシコ国内に鉄鉱石鉱山を保有する Leeocta Alliance Mineral Resources, Inc.（以下、「リーオクタ社」という）に対し、同社株式転換権付貸付（50 万米ドル。約 45 百万円）を実行いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 背景および理由

当社は、行使により調達した資金を、資源・エネルギーおよび環境関連事業分野における事業投資資金として主に活用し、従来赤字である経常的なキャッシュフローの早期黒字化を達成することを目的とし、平成 21 年 12 月 25 日に第 5 回新株予約権 2,676 個（新株予約権の目的となる当社株式：267,600,000 株。1 株当たり行使価額：4.4 円）を発行しております。

当社は、第 5 回新株予約権を発行した当時より、複数の事業投資案件の検討を継続しておりますが、そのうちの 1 件が、リーオクタ社に対する出資でありました。その後リーオクタ社ならびに同社が保有する鉄鋼石鉱山の調査および、条件等の交渉を行い、今回、さらなる調査および条件交渉を行ったうえで、貸付金を同社資本に将来振替を行うことを前提に、50 万米ドルの貸付を実行することといたしました。当該貸付の主な条件は以下のとおりです。

① 当 事 者	貸主： 当社 借主：リーオクタ社
② 元 本	500,000 米ドル。 但し、当初の貸付実行日より 30 日間の間、貸主は、その自己裁量で、さらに 2,000,000 米ドルを追加で同条件にて貸付を実行する権利を有する。
③ 金 利	年 10%（年 1 回払い）
④ 返 済 期 日	貸付実行日（平成 22 年 2 月 18 日）より 1 年後の日（平成 23 年 2 月 18 日となる予定）
⑤ 株 式 転 換 特 約	貸主の自己裁量で、元本の全部または一部（但し、1 回につき最低 125,000 米ドル）を、借主の株式 1 株当たり 200 米ドルの転換価額で転換することを請求することができる。 125,000 米ドル相当額の転換を行った場合、転換時点における貸主の借主に対する持株比率が最低 1%となることとし、上記転換価額での転換によってそれを下回ることとなる場合は、転換価額を調整するものとする。
⑥ 担 保	借主または借主の子会社が、鉄鉱石の販売先に対し保有する全ての売掛金に、第一位の担保を設定する。

リーオクタ社は、その完全子会社である Grupo Minero Leeocta JGMG S.A.（メキシコ法人）を通じ、メキシコ国内に鉄鉱石鉱山を保有しており、既に、中国の大手鉄鉱会社との間で、スポット販売契約を締結し、現在、当該スポット販売契約の出荷準備を行っており、早ければ今月中にも出荷がなされる見込みであります。また、そのほかにも、日本の大手鉄鋼会社等とも、鉄鉱石の販売につき積極的に協議を行っております。

当社は、リーオクタ社保有の鉱山で生産される鉄鉱石の将来的な生産の拡大可能性に着目しており、今後、さらなる条件交渉等を行い、第5回新株予約権の行使状況等も考慮に入れた上で、最大で合計250万米ドル（約225百万円）の貸付を当社に対して行い、返済期日までの間に同社株式に転換し、同社資本への振替を行う計画であります。250万米ドル全額の貸付と株式転換を行った場合、当社の同社に対する持株比率は、約20%となる見込みであります。

## 2. 貸付先の概要

⑦ 商号	Leeocta Alliance Mineral Resources, Inc.
⑧ 本店所在地	Justin Park, 2629 Foothill Blvd. #341, La Crescenta, CA 91214 USA
⑨ 設立年月日	平成21年8月3日
⑩ 代表者	Eung Sun An (President)
⑪ 事業内容	資源開発
⑫ 当社との関係	
資本関係	該当なし
人的関係	該当なし
取引関係	平成22年2月5日付で当社より同社に対し20万米ドルを貸付
関連当事者への該当状況	該当なし

## 3. 今後の見通し

今回の50万米ドルの貸付実行による、当社の当期（平成22年3月期）の業績予想に修正はありません。

今後、約1ヶ月の間、第5回新株予約権の行使状況等を勘案しつつ、リーオクタ社に対し、追加で貸付を行うか否かを決定いたします。また別途、貸付金をリーオクタ社の資本に振替を行うか否かについても、同社との条件交渉の進行状況等を勘案した上で、検討し、決定いたします。当社の翌期（平成23年3月期）以降の業績予想の策定等に際しては、これらのそれぞれの決定の内容を考慮して行まいります。

以上